

三陸復興 一般県道明戸八木線(復興関連道路) 小田の沢

当該路線の位置づけ

一般県道明戸八木線は、主要地方道八戸大野線(九戸郡洋野町大野)を起点とし、九戸郡洋野町種市において跨道橋により国道45号を越え、一般県道八木港線に接続する**補助幹線道路**で、**広域物流ネットワークの拡大、救急搬送ネットワークの形成および観光ネットワークの形成**など多くの役割を果たし、また、三陸沿岸北部と内陸県北部を結び、**緊急輸送や代替輸送等の役割**を果たす路線です。

現状の課題

一般道路部においては**最小幅員が4.4m**の隘路区間が続いており、国道45号を越える跨道橋においても**幅員が4.0m**となっており、車両のすれ違いが困難な状況となっています。
また、八木地区から内陸へ抜ける唯一の道路であることから、大型車両も通行しており、前述のとおり隘路区間であるため、車両の通行だけでなく**沿道の住民にも危険が伴っている**状況です。



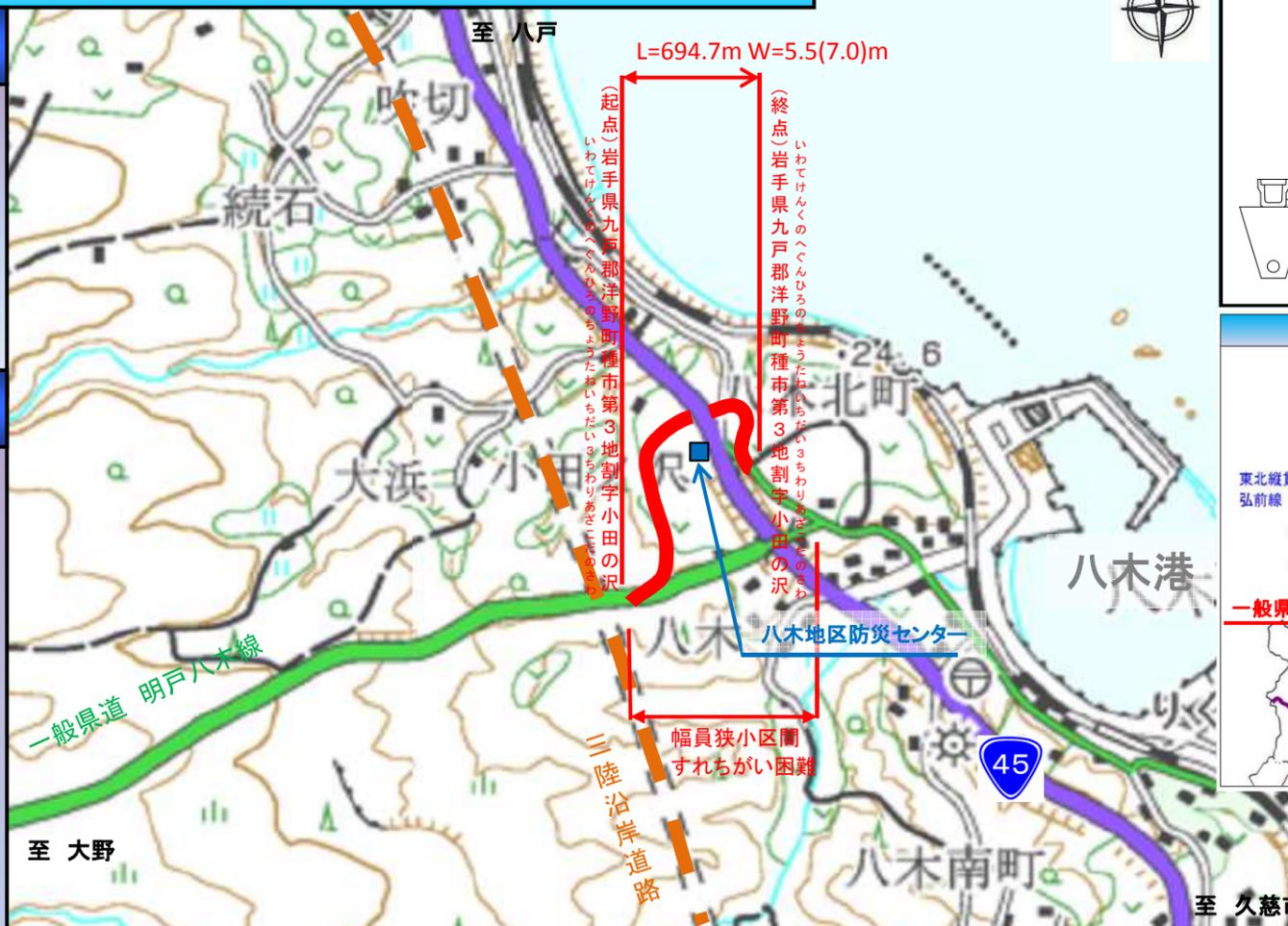
▲現道の隘路区間



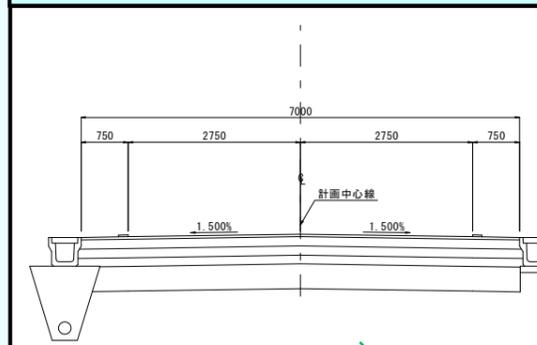
▲国道跨道橋

事業工程

事業内容	(予定)					
	2015	2016	2017	2018	2019	2020
調査設計		■	■			
用地測量・物件調査			■	■		
用地補償				■	■	
道路改良舗装					■	■



標準断面図



三陸復興道路整備事業ネットワーク図



整備効果

【道路ネットワークの形成】

○当該路線は、**防災拠点(八木地区防災センター)**や**医療拠点(種市病院)**への**アクセス道路**として重要な役割を果たしており、岩手県東日本大震災津波復興計画において、**復興関連道路**として位置付けています。今回の整備により、災害に強く**信頼性の高い道路ネットワークの強化**が図られます。

【交通安全の向上】

○計画区間が整備されることにより、隘路区間が解消され、安全で円滑な**交通機能が確保**されます。また、国道45号と直接結ばれることから、内陸へ向かう大型車両と、沿道住民が利用する車両の交通が分離され、当該地区住民の**日常交通の安全も確保**されます。
○洋野町震災復興計画において「災害に強いまちづくり」が位置付けられており、当該路線も海側からの**避難路として機能向上**が図られます。

【物流の効率化】

○幅員狭小、線形不良区間の解消により**補助幹線道路機能が強化**され、**地方港湾である八木港と内陸部への物流の効率化と東日本大震災からの復旧復興に寄与**します。

【豊富な観光資源の活用】

○高規格道路へのアクセス性の向上により、**内陸部から沿岸部への観光周遊ルートが強化**され、小袖海岸等、沿岸部への観光周遊ルートの強化により、**岩手県の豊富な観光資源を利用した地域の自立と活性化の強化に寄与**します。



▲八木地区防災センター



▲小袖海岸(つりがね洞)